

朝食を食べて風車を回そう

松浦市教育会（柴山節子会長）主催の教育講演会が8月10日、松浦シティホテルで開催されました。

講演会では東海大学体育学部教授・医学博士の小澤治夫先生が「子どもを一人前に育てる大人の責任—学力・体力の向上は生活習慣の立て直しから—」と題して講演しました。小澤先生は「意味のあることを熱意を持って上手に教えること、科学的な根拠に基づき、朝食を食べることで排便を促し、学業に集中でき、部活動などで体を動かすことによって心地よい睡眠が訪れ、すっきり目覚めて朝食が食べれるという生活習慣の風車を回すことが学力向上・体力向上につながります」と話しました。



林さんファミリーが松浦を満喫

市が冠スポンサーとなったソフトバンクホークス対広島東洋カープ戦でラッキーゲスト賞「松浦市旅行」に当選した林真治さん（福津市）家族が8月10日から2泊3日、市内各地を観光・宿泊し、本市を満喫しました。

これは、福岡都市圏交流促進事業の一環として開催されたもので本市のPRを目的としています。

この日、市内に宿泊した林さん家族には子どもの誕生日が近いということもあり、名前と誕生日が入ったソフトバンクホークスのレプリカユニフォームなどがプレゼントされました。林さんは「同じ会社に松浦出身の人もいたので松浦市の名前は知っていました。実際に観光して、自然が豊かで海のきれいが印象に残っています。子どもたちもきれいな海での海水浴が楽しかったようです。カブトムシ捕りにも連れて行っていただき、子どもたちのいい思い出ができました。機会があればまた来てみたいし、友人にも紹介したいですね」と話していました。



ドッチボールとミニバレーで熱戦

鷹島地区青少年健全育成会主催による「子ども会地区対抗球技大会」が8月1日、鷹島スポーツ・文化交流センターと鷹島総合運動公園グラウンドで開催されました。この日は、地域の児童、生徒約500人が参加し、保護者や地域の人の応援を背に、日頃の練習の成果を發揮して熱戦を繰り広げました。上位の結果は以下の通りです。



【小学生ドッチボールの部】

①中通 ②阿翁浦A ③殿ノ浦

【中学生ミニバレーボールの部】

①中通 ②阿翁浦A ③三里

力を合わせ和船競漕

第5回星鹿町みなと祭り・和船競漕大会が8月2日、星鹿港で開催されました。

地域の青少年に、海を愛し親しむ心を持ってもらおうと星鹿町青少年健全育成会（香林亮善会長）が2年に一度開催しています。

和船競漕は地区対抗、団体（チーム）対抗などの各部門に21チームが出場。地区対抗の三世代の部では、小学生からお年寄りまで5～10人が長さ8尺、幅2尺の木造和船に乗り込み、3隻が往復約300尺の特設コースで順位を競いました。思うように進まず沖に向かう船もあり、観客からは笑いど歓声が上がっていました。



各地で精霊流し

初盆を迎えた霊を船に乗せて送る精霊流しが8月15日、市内各地で行われました。

星鹿町川原辺田地区では、昨年と同地区と道楽会（池野晋一代表）が共催して、精霊流しに加え花火を打ち上げたり、大スクリーンで故人の映像を映し出したりしています。

この日、同地区内の漁港に集まった同地区住民をはじめとする星鹿町の住民や御厨町の住民約300人は、故人へのメッセージとともに打ち上げられる花火を眺めたり、大スクリーンに映し出された映像を見たりしながら故人をしのび、静かに故人の霊を送り出していました。



交通安全子ども自転車県大会で5位入賞

第34回交通安全子ども自転車長崎県大会（長崎県警察本部、財団法人長崎県交通安全協会、各地区交通安全協会主催）が7月30日、県立総合体育館で開催され、本市から出場した今福小学校が団体5位（長崎県交通安全協会会長賞）に入賞しました。

同大会は、自転車競技を通じ、児童に交通安全についての興味と関心を持たせ、交通知識を身につけさせることなどを目的に開催。各地区1チーム、小学校1校から4人の選手が出場し、学科テストと実技テストの成績により順位を決めるものです。

団体の部には県内から23チームが出場し、今福小学校は見事5位に入賞しました。



わんぱく相撲全国大会に出場

養源小6年生の吉田大地君（福島・土谷）が5月24日に平戸市で開催された「第18回わんぱく相撲北松浦大会」で優勝、6月14日に時津町で開催された「第6回わんぱく相撲長崎県代表選手選考大会」で3位に入賞し、全国大会出場権を手に入れました。

第25回わんぱく相撲全国大会は8月2日、東京両国国技館で開催。吉田君は、6年生の部個人戦に出場し、4回戦までこまを進め、134人中ベスト32に入ることができました。

大会前日には大相撲木瀬部屋に体験宿泊しました。



ソフトボールで全国優勝

志佐少年ソフトクラブに所属する志佐小5年生の松永佳奈さん（志佐・上野）が、佐世保ひまわりソフトボール部の一員として、第23回全日本小学生女子ソフトボール大会に出場し、見事全国優勝を果たしました。

松永さんは、市内に女子チームが無いいため佐世保ひまわりソフトボール部にも所属。志佐小学校で火曜日以外毎日夕方約2時間行われている志佐少年ソフトクラブの練習に参加し、毎週土曜日午後には日野小学校で4時間半、佐世保ひまわりソフトボール部の練習に参加しています。



前列一番左が松永さん

8月1日から4日まで東広島市で行われた同大会には、全国から48チームが参加。松永さんのチームは、東京、大阪、静岡などのチームをすべて0点に抑えて下し、見事優勝をしたものです。

松永さんは「優勝することができて6年生とのいい思い出ができました。試合ではバッティングがしっかりできるように心掛け、2塁打、3塁打が打ててよかったです。来年も部員が集まって、また全国大会に参加し、優勝したいです」と話していました。

